



校長室の窓から

《校長だより》

神奈川県立市ヶ尾高等学校

校長 増淵 広美

平成 29 年 3 月 2 日

第 20 号

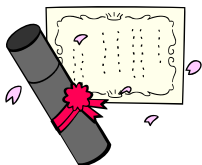
卒業おめでとう！～持てる力を存分に発揮し、心豊かな、悔いのない人生を！～

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

私が3年生の皆さんとともに過ごしたのは2年間ですが、さわやかな挨拶と笑顔に励まされることがとても多かったです。そして、澁漑として、何事にも全力で取り組む姿にたくさんの感動をもらいました。

新入生歓迎会、体育祭、文化祭、球技大会など、様々な行事での奮闘ぶりと3年生としての意気込み。自習室や教室で仲間とともに勉強に励む姿、進路の決まった生徒たちが受験を控えたクラスメート全員にお守りを作って贈る優しさ。部活動でも、全国大会や関東大会に出場するなど、大きな実績を残してくれました。

「市高最高！」という思いを共有し、仲間とともに切磋琢磨した皆さんの3年間は、「青春」という言葉が本当によく似合います。



◆◆41期生との思い出

皆さんと一緒にいった修学旅行も忘れることができません。

広島での被爆体験講話では、そのお礼の言葉の中で、代表生徒が、戦争があった事実から目を背けることなく、平和な日々を奪う戦争を二度と起こさないという強い決意を一人ひとりが持つことの大切さを力強く述べ、その言葉に多くの生徒が共感と賞賛を送っていました。その様子に、これからの世界を担う若者への大きな希望を見る思いがしました。また、民泊先の方が、平和への願いを込めて本校生徒に託した「羽ばたきの鶴」という名の折り鶴は、今も校長室に飾ってあります。

皆さんの修学旅行は、人の温かさや力強さ、そして、視野の広がりを実感するとともに、平和への強い思いとその担い手としての使命を自覚した旅でもあったと思います。

◆◆本校への貢献

41期生の皆さんは、よりよい学校づくりに大いに貢献してくれました。その一つが校内の美化活動の活性化です。41期生が美化・防災委員会の委員長と副委員長を務めた昨年度、全校生徒をリードして取り組んだ大掃除大会は、本校の美化活動の大きな転機となりました。

もう一つは、生徒会役員選挙の改革です。昨年5月の役員選挙では、教室で投票用紙を回収するやり方を改め、区役所から本物の記載台と投票箱をお借りして、実際の投票に即した形で行いました。それをリードしたのも41期生の選挙管理委員です。その背景には、自分たちが初めての対象者となる「18歳選挙」について、生徒の関心を高めたいという思いもあったと聞いています。

皆さんが本校に残してくれた多くの貢献に感謝するとともに、これからの社会の担い手として、その力を実社会でも大いに発揮してくれることを心から期待しています。



みんなの「市高」(撮影:キャリアサポーター 川内秀彦さん)

◆◆41期生に期待すること

皆さんの門出にあたり願うことは、持てる力を存分に発揮し、心豊かな、悔いのない人生を送ってほしいということです。そのために心に留めてほしい三つのことを、皆さんへのはなむけの言葉として贈ります。

一つは、「生涯にわたり自らを高め続ける」ということです。

私は、この2年間、「より高きを目指せ！」という言葉で皆さんにそのことを伝えてきました。皆さんは、豊かな資質と能力に恵まれています。そして、それは磨けば磨くほど輝きを増します。41期生の皆さん、常により高い目標に向かって、自らを高め続けてください。それは、本気で自分の人生を生きるということでもあります。時には大きな困難や試練にぶつかることもあると思います。しかし、本校で、いろいろなことを頑張ってきた皆さんなら、どんな試練も成長の機会ととらえ、必ず乗り越えてくれることと信じています。

二つ目は、「自分の世界を広げ続ける」ということです。

自らを磨き高めるためには、自分の世界を広げることが大切です。是非、知的好奇心と学び続ける姿勢を持ち続けてください。内面の世界を広げるために、特に皆さんに奨めたいのは、若いうちに本をたくさん読むということです。現代は

様々な情報機器を使って情報を簡単に手に入れることができます。しかし、その多くは断片的なものになりがちです。それに対して本は、体系的にまとまった内容を得ることができ、読む者を深い思考に導き、世界を広



前号で紹介した冬花壇(テーマは「勝利 Victory」)。花苗が生長し、頭文字の「V」の色と形がとても鮮明になりました。「春」とともに保護者の皆様の「愛」を感じます。環境委員の皆様、ありがとうございます。



正門からプールに向かう植込みに咲く「山菜薺(さんしゅゆ)の花。春の訪れを告げる花です。葉が出る前の枝先に黄色の小さな四弁の花が球状に集まって咲き、満開になると木全体が黄色に煙って見えます。別名「春黄金花(はるこがねばな)」

げてくれます。読書をとおして、世界観、人生観、そして物事の価値観を養い、そこから自分ならではの使命感を育んでください。

併せて、外の世界に大きく視野を広げてください。高校時代の世界はまだ狭く、皆さんは、これから自分が選んだ分野について深く学び、より広い世界を知ることになります。しかし、現代は、グローバル化と多様化が進み、急速な情報化や技術革新は、あらゆる分野において加速度的な変化をもたらしています。常に世界や社会の動向を見据えてください。変化の激しい時代だからこそ、自分を生かすチャンスがより多く訪れるはずですよ。

また、人とのつながりや出会いも世界を広げてくれます。一つの出会いが次の出会いを生み、人生を変えるような大きな出会いにつながることもあります。よき出会いのために、自分を磨き、どんな時でも、誰に対しても誠実でありたいものです。

三つ目は、「社会に貢献する」ということです。

この世界のどこかに、皆さん一人ひとりにしか担えない役割が必ずあります。人は、自分のためだけに生きているときよりも、誰かのため、社会のために生きようとするとき、さらに強い信念を持って生きることが出来ます。私は、皆さんが、社会や世界のどこかを支えているという自負を持ち、より多くの人のために力を発揮してくれることを心から期待しています。



◆◆アインシュタインの言葉

「一度も失敗したことがない人は、何も新しいことに挑戦したことがない人である」

これは、アインシュタインの有名な言葉です。失敗を恐れ、無難なところに留まっていたら自らを高めることはできません。失敗も、その時は失敗だと思っても、そこで諦めず、志を持って前に進み続ければ、振り返った時、成長や成功のための大切な通過点になっていることに気づくはずですよ。自分の力を信じ、常に新たな自分に挑戦してください。

◆◆心のこもったコサージュ

今、皆さんの胸に飾られているコサージュは、多くの保護者の皆様が、何か月も前から心をこめて作ってくださったものです。感謝の気持ちとともに、今日の日のよき記念として大切にしてください。

私も、一つだけですが、教えていただきながら作りました。リボンの後ろに「M」の字が書いてあります。誰かの胸を飾っていることと思います。



10月25日(火)に行われたコサージュ作り。学年委員とサポーターの皆さんが参加。私も教えていただきながら1つ完成。

みんなの「進路公開室」！ キャリアサポーターの川勾さんに感謝！



「リラクゼーションコーナー」もある普段の進路公開室。観葉植物に癒されます。



お月見



ハロウィン



←クリスマス



お正月。進路公開室の入口に注連飾りも飾られています。



節分。受付には福豆。テーブルには受験生のためのキットカット(きっと勝つ)！